

TRINITY

香川大学創造工学部後援会会報 Vol.27

2026

FACULTY OF ENGINEERING AND DESIGN
KAGAWA UNIVERSITY

香川大学創造工学部後援会会報

2026.7 VOL.27

目 次

◆ご挨拶	
後援会会長	1
創造工学部長	2
◆令和8年度学生の年間行事予定	3
◆学生表彰	
令和7年度受賞者	4
◆令和7年度後援会支援事業報告	
国際交流支援事業	
令和7年度協定校訪問（オーストラリア／キャンベラ大学）	11
課外活動支援事業	
香川大学学生ロボット研究所（第21回種子島ロケットコンテストへの参加）	13
就職活動支援事業	
ガイダンス・セミナーの実施状況	15
令和7年度主な就職先一覧	17
◆香川大学創造工学部後援会役員会・総会報告	19
◆香川大学創造工学部後援会（飛翔会）規約	31
◆創造工学部コース紹介・教員紹介	33

ご挨拶



香川大学創造工学部後援会会長 小野 滋 己

香川大学創造工学部後援会会員の皆様におかれましては、日頃より後援会活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、2025年は「未来社会」を強く意識する一年であったと感じております。大阪・関西万博では、AIやロボット、量子技術、次世代エネルギーなど、科学技術が社会課題の解決にどのように貢献していくのかが、世界に向けて示されました。また、生成AIの急速な進展により、理工系分野で学ぶ人材への期待は、これまで以上に高まっています。

一方で、技術は単に利便性を追求するものではなく、安全性や持続可能性、そして社会や人との関わり方が重視される時代となっています。創造工学部で学ぶ学生たちは、専門知識や技術の修得に加え、デザイン思考を基礎としながら、社会とのつながりや倫理観、リスクマネジメント、多様な価値観への理解を深め、日々学修に励んでいることと思います。

大学生活は、研究や実験、課外活動、進路選択など、多くの経験を通して大きく成長する大切な時期です。保護者としては、結果だけではなく、試行錯誤を重ねながら挑戦するその過程を温かく見守り、支えていくことが重要であると感じております。

後援会といたしましても、学生たちが安心して学業や研究に取り組み、自らの可能性を広げていけるよう、大学との連携を大切にしながら支援を続けてまいります。本年3月には、コロナ禍により中断しておりました対面での後援会役員会を、約7年ぶりに開催いたしました。久しぶりの対面開催となり、活発な意見交換を通じて、学生生活をより良く支えるための有意義な話し合いの場となりました。

これまで後援会では、学生行事や課外活動、新入生研修、就職活動、国際交流、インターンシップ、研究発表への支援をはじめ、卒業記念事業や防災備蓄用品の整備など、幅広い支援活動を行ってまいりました。今後は、積立金を活用した教育環境整備への補助も計画し、学生生活の更なる充実に努めてまいります。

今後も後援会活動を通じて、学生たちと大学とのつながりを大切にしながら、より良い学修・研究環境づくりを支えていきたいと考えております。会員の皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、吉田学部長をはじめ、諸先生方ならびに事務局の皆様のご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。

ご挨拶



香川大学創造工学部長／大学院創発科学研究科工学系領域長
吉田 秀典

香川大学創造工学部では、学生一人ひとりが主体的に学び、研究し、国内外で活躍できる人材へと成長することを目指し、教育・研究活動の充実に取り組んでおります。こうした活動は、日頃より後援会会員の皆様から賜っております温かいご理解とご支援によって支えられており、心より感謝申し上げます。

創造工学部では、後援会のご支援のもと、学生の学修・研究活動を幅広く支援しております。例えば、学会活動支援として、学生が国内外の学会へ参加し研究成果を発表する際の学会年会費や参加費の一部補助を行っております。これにより、学生は研究者や技術者との交流を通じて専門知識を深めるとともに、自らの研究成果を社会へ発信する貴重な経験を積むことができます。

また、国際的な視野を持つ技術者・研究者の育成を目的として、海外大学との交流事業や国際インターンシップにも力を入れております。後援会からの支援は、こうした国際交流活動に参加する学生の旅費等にも活用されており、多くの学生が海外の大学や企業で異文化に触れながら学びを深めています。これらの経験は、専門知識のみならず、国際感覚やコミュニケーション能力の向上にも大きく寄与しています。

さらに、課外活動や学生プロジェクトなど、多様な学生アクティビティについても後援会からのご支援をいただいております。学生の自主性や挑戦する意欲を育む環境づくりに大きく貢献いただいております。学生が充実した大学生活を送り、自らの可能性を広げることができるのは、後援会の皆様の温かいご支援の賜物です。

これらの支援制度は、後援会にご加入いただいているご家庭の学生を対象として実施しております。そのため、まだ後援会へご加入いただけていない保護者の皆様におかれましては、ぜひ後援会の趣旨をご理解いただき、ご加入をご検討いただけますと幸いです。後援会へのご加入は、学生の学びや研究活動、国際交流活動などを支える大きな力となり、創造工学部全体の教育環境のさらなる充実に繋がります。

今後とも、学生が国内外で活躍できる高度専門職業人・研究者として成長できるよう、教職員一同努力してまいります。引き続き、後援会の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

● 令和8年度学生の年間行事予定 ●

4月	1日	第1学期開始
	3日	新入生ガイダンス ～ 4/6
	7日	入学式
	8日	新入生修学相談会 ～ 4/10
	10日	新入生歓迎祭
	13日	授業開始（第1学期・第1クォーター）
6月	11日	授業開始（第2クォーター）
7月	30日	第1学期定期試験 ～ 8/5
8月	6日	夏季休業 ～ 9/30
	7日	オープンキャンパス・讃工祭
10月	1日	第2学期開始 大学記念日
	2日	授業開始（第2学期・第3クォーター）
	31日	香川大学祭 ～ 11/1
12月	3日	授業開始（第4クォーター）
	25日	冬季休業 ～ 1/7
2月	8日	第2学期定期試験 ～ 2/15
3月	11日	春季休業 ～ 3/31
	24日	卒業式・修了式

● 学 生 表 彰 ●

令和7年度創造工学部長賞受賞者

コ ー ス	氏 名
造形・メディアデザインコース	勢 登 遥
建築・都市環境コース	田 川 蒼 真
防災・危機管理コース	近 藤 佑 紀
情報システム・セキュリティコース	松 原 潤
情報通信コース	戸 田 凌 大
機械システムコース	室 谷 帆 人
先端マテリアル科学コース	浦 谷 真 由

令和7年度創造工学部後援会会長賞受賞者

コ ー ス	氏 名
造形・メディアデザインコース	武 藤 叶 笑
建築・都市環境コース	継 山 平
防災・危機管理コース	内 藤 千 晴
情報システム・セキュリティコース	濱 渦 ゆりの
情報通信コース	門 田 滉 平
機械システムコース	清 水 夏 生
先端マテリアル科学コース	三 好 翔 太

令和7年度創造工学部特別賞受賞者

コ ー ス	氏 名
造形・メディアデザインコース	馬 場 夏 希
機械システムコース	山 本 理 太
先端マテリアル科学コース	熊 代 景

令和7年度創造工学部特別賞受賞者（団体）

団 体 名
KASASHIMA STUDIO
香川大学情報化推進統合拠点DX推進研究センター DXラボ
香川大学サイバー防犯ボランティア「SETOKU」
おむすび研究室

令和7年度創発科学研究科特別賞受賞者

系 領 域	氏 名
博士前期（建築・都市環境）	阪 村 七々郁
博士前期（建築・都市環境）	秋 山 虎太郎
博士前期（建築・都市環境）	小 坂 伊 織
博士前期（建築・都市環境）	真 寄 寛 太
博士前期（建築・都市環境）	中 矢 恵美子
博士前期（AI通信）	和 泉 拓 真
博士前期（AI通信）	佐々木 龍之介
博士前期（AI通信）	森 結 香
博士前期（AI通信）	吉 岡 拓 未
博士前期（機械）	辻 村 翔 太
博士前期（材料物質科学）	磯 野 舞 奈
博士前期（材料物質科学）	田 原 梨 珠

令和7年度創発科学研究科特別賞受賞者（団体）

団 体 名
KASASHIMA STUDIO
香川大学情報化推進統合拠点DX推進研究センター DXラボ



表彰式の様子

香川大学創造工学部学生表彰規程

平成30年4月1日

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学創造工学部（以下「本学部」という。）における学生の表彰に関し必要な事項を定めるものとする。

(表彰の基準)

第2条 表彰は、次の各号のいずれかに該当し、他の学生の模範になると認められる本学部の学生又は団体（以下「学生等」という。）に対して行う。

- (1) 特に優秀な学業成績を修めた学生等
- (2) 学術研究活動において、特に顕著な業績をあげた学生等
- (3) 課外活動において特に優秀な成績により、課外活動の振興に功績があったと認められる学生等
- (4) 社会活動において特に顕著な功績があり、社会的に高い評価を受けたと認められる学生等
- (5) その他前各号と同等以上の表彰に値する功績があったと認められる学生等

(被表彰者の選考)

第3条 学部長は、前条各号のいずれかに該当すると認める者があるときは、教務委員会で審議の上、教授会の議を経て被表彰者を決定する。

(表彰の方法)

第4条 表彰は、表彰状及び記念品を授与することにより行う。

(表彰の時期)

第5条 表彰は、原則として卒業式当日に行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、表彰する必要があると認められるときはその都度行う。

(公表)

第6条 学部長は、被表彰者の所属、氏名、表彰の種類を本学部内に公表する。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、学生の表彰に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

香川大学創造工学部学生表彰実施要項

制 定 平成30年4月1日

一部改正 令和 5年4月1日

一部改正 令和 7年4月1日

(趣 旨)

第1条 この要項は、香川大学創造工学部学生表彰規程第7条の規定に基づき、表彰の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(表彰の種類)

第2条 表彰は、成績優秀表彰及び特別表彰とする。

(成績優秀表彰)

第3条 成績優秀賞は、創造工学部長賞とし、本学部を卒業する学生を対象に、コース毎に被表彰候補者を選出する。ただし、全学的に表彰された者は除く。

2 被候補者の選出は次により行う。

- (1) 成績優秀表彰の被表彰候補者は、各コースにおいて「秀と優を換算した比率 $((1.5s + a) / (s + a + b + c))$; s , a , b , c はそれぞれ秀, 優, 良, 可の取得単位数) が1位の者とする。
- (2) 対象とする科目は、単位取得した学部開設科目とし、編入学生は、本学部に入部してから単位取得した学部開設科目とする。

(特別表彰)

第4条 特別表彰は、創造工学部特別賞とし、本学部の全学生又は主として本学部の学生で構成する団体（以下「学生等」という。）を対象に被表彰候補者を選出する。ただし、全学的に表彰された者は除く。

2 創造工学部特別賞は、次の各号各事項のいずれかに該当する顕著な功績があった者を被表彰候補者とする。

(1) 学術研究活動

- (イ) 研究に対する賞を受賞した学生等
- (ロ) 研究が新聞、学会誌等に掲載され高い評価を得た学生等
- (ハ) 特に取得が困難とされる資格を取得した学生等

(2) 課外活動

- (イ) 国際規模の大会等に選抜され出場した学生等
- (ロ) 全国規模の大会等に出場し入賞した学生等
- (ハ) 四国地区の大会等で優勝した学生等
- (ニ) その他 (イ) から (ハ) に準ずる成績を収めた学生等

(3) 社会活動

- (イ) ボランティア活動が社会的に高い評価を受けた学生等
- (ロ) 学内の環境整備等に特に貢献した学生等
- (ハ) 本学部の名誉を高める行為を行った学生等
- (ニ) その他 (イ) から (ハ) に準ずる活動を行ったと認められる学生等

3 前項各号各事項に該当する学生等があるときは、別紙様式1に定める学生表彰推薦書を学部長に提出する。ただし、前項第1号に該当する学生等の推薦については、領域（コース）で審議の上、提出すること。

(表彰状)

第5条 表彰状の様式は、別紙様式2から様式4とする。

(雑 則)

第6条 この要項に定めるもののほか、表彰の実施に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この要項は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和7年4月1日から施行する。

香川大学創造工学部後援会学生表彰規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、香川大学創造工学部（以下「本学部」という。）における学生の表彰に関し、必要な事項を定める。

(表 彰)

第2条 表彰は、優秀な学業成績を修めた学生に表彰状と記念品の授与をもって行う。

(被表彰候補者)

第3条 表彰は、後援会会長賞として、本学部を卒業し、後援会に加入している学生を対象に行う。ただし、全学的に表彰された者は除く。

2 後援会会長賞は、各コースにおいて成績換算値（ $5s+4a+2b+c$ ； s, a, b, c はそれぞれ秀，優，良，可の取得単位数）が1位の者をコース毎に被表彰候補者とする。なお、対象とする科目は単位取得したすべての科目とする。

3 前項の被表彰候補者が香川大学創造工学部学生表彰実施要項第3条に規定する被表彰候補者と同一人である場合は、次順位者を被表彰候補者とする。

(被表彰候補者の選考)

第4条 被表彰候補者は、創造工学部教務委員会で審議し、運営会議の議を経て学部長が後援会会長に推薦する。

2 後援会会長は、学部長より推薦のあった者について役員会の議を経て被表彰者を決定する。

(表彰状)

第5条 表彰状は別紙様式によるものとする。

(公 表)

第6条 被表彰者の所属、氏名、表彰の種類を本学部内に公表する。

(雑 則)

第7条 この規程に定めるもののほか、表彰に関し必要な事項は後援会が定める。

附 則

この規程は、平成14年 3月22日から施行する。

附 則

この規程は、平成15年 3月24日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年 3月23日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年 4月3日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年 4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和8年 3月7日から施行する。

● 令和7年度協定校訪問事業 ●

オーストラリア・キャンベラ大学協定校訪問報告

創造工学部 教授 宮本 慎宏・准教授 長谷川 裕修

2026年3月8日から3月14日にかけて、協定校であるオーストラリア・キャンベラ大学の学生および教職員と交流するため、キャンベラ大学を訪問しました。参加学生は、造形・メディアデザインコース4年の眞鍋裕也さん、同コース2年の妹尾凜さんおよび蜜石杏珠さん、機械システムコース3年の岩部夏季さん、人工知能・通信ネットワークコース1年の山中咲乃さんの計5名で、学生の引率は建築・都市環境コースの宮本慎宏教授および長谷川裕修准教授が担当しました。3月8日の夕方の便で高松空港を出発し、台北を経由して翌9日の昼にオーストラリア・シドニー空港に到着しました。その後、バスでキャンベラへ移動しました。

1日目の3月10日はキャンベラ大学を訪問しました。午前中は学部長と面談した後（写真1）、キャンパス構内の見学を行いました。その途中で野生のカンガルーに遭遇しました。構内のカフェで昼食を取った後、午後から教室で香川大学の学生による発表を行いました。発表では、自己紹介に続いて、日本の紹介、香川の紹介、日本文化の紹介、香川大学および所属研究室で取り組んでいる研究について紹介しました。キャンベラ大学側の参加者の人数は、教員が3人、学生が3人でした。発表後は、日本の文化として紹介した折り紙を用いて折り鶴の作り方を説明し、学生同士で交流を深めました（写真2）。その後、文化遺産保全の研究室や建築の製図室を見学しました。

2日目の3月11日も前日に続いてキャンベラ大学を訪問しました。午前中はプロダクトデザイン分野の実習場を

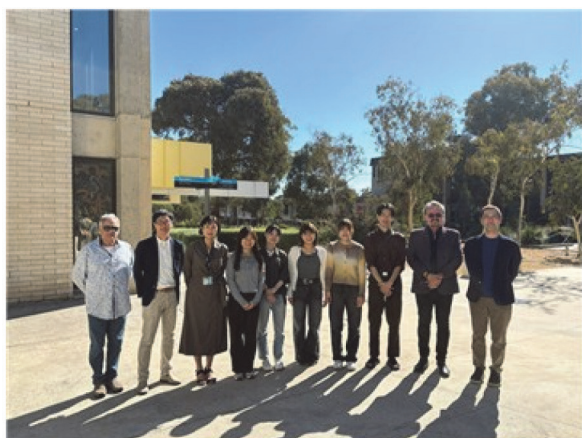


写真1 学部長との集合写真



写真2 発表会後の交流の様子



写真3 ワークショップ後の集合写真



写真4 研究室見学の様子

見学し、粘土を用いてマウスを制作するワークショップに参加しました（写真3）。構内のカフェで昼食を取った後、午後からはIoTおよびロボット関連の研究室を見学し（写真4）、先進的な研究事例について説明を受けました。最後に2日間の活動を振り返り、特に日本とオーストラリアの大学における教育環境や学生生活の相違点について意見交換を行いました。

3日目の3月12日はキャンベラ大学の中西先生およびAnn先生の解説付きで市内の主要箇所を視察しました。まず、エインズリー山の頂上からキャンベラの都市計画について説明を受けました（写真5）。その後、オーストラリア戦争記念館やオーストラリア連邦議会の建物を見学しました。議会の建物内のカフェで昼食を取った後、オーストラリア国立美術館（写真6）やオーストラリア国立肖像美術館を見学しました。

4日目の3月13日は午前中にキャンベラからシドニーへバスで移動し、午後はシドニー市内のオペラハウス（写真7）やザ・ロックス（写真8）の周辺を散策しました。その後、夜の便でシドニー空港を出発し、台北を経由して翌日の昼に関西国際空港に到着後、現地で解散しました。

今回の協定校訪問を通じて、キャンベラ大学との交流の意義を再確認するとともに、参加した学生にとって貴重な機会を得ることができました。

（参考）過去の協定校訪問プログラムの訪問先

第1回 フランス	第2回 韓国	第3回 フィンランド	第4回 ネパール
第5回 ドイツ	第6回 タイ	第7回 スウェーデン	第8回 アメリカ
第9回 台湾	第10回 フランス	第11回 中国	第12回 フィンランド
第13回 ネパール*	第14回 韓国*	第15回 韓国	第16回 ネパール
第17回 オーストラリア			

*印は、オンラインによる交流事業を示します。



写真5 エインズリー山



写真6 オーストラリア国立美術館



写真7 シドニーの町並みとオペラハウス

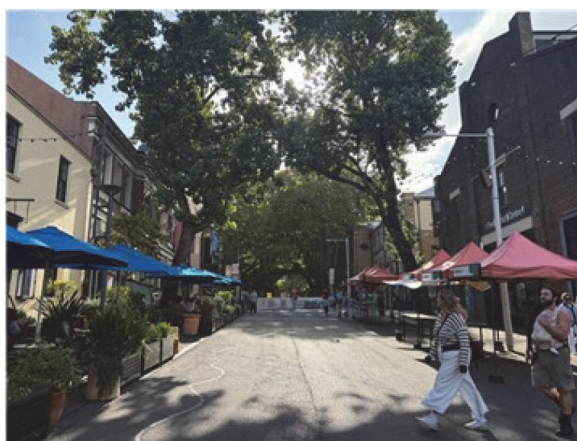


写真8 ザ・ロックス周辺の町並み

● 香川大学学生ロボット研究所活動報告 ●

創発科学研究科博士前期課程工学系領域1年 平岡 裕貴
(顧問) 創造工学部機械システムコース教授 石原 秀則

学生ロボット研究所は、ロボットコンテストへの参加を通して、ロボット開発の知識や技術を学べる創造工学部で最も古い学生サークルです。今回は「第21回種子島ロケットコンテスト」のCanSat部門(自律制御カムバック)に参加いたしました。



2025年3月6日～10日の本大会に向け、私たちは上位入賞と技術力向上を目指し、CanSat(模擬人工衛星)の開発に注力しました。CanSatは打ち上げられた後、上空から分離・放出され、パラシュートで落下し、着地後にパラシュートを分離してゴールまで自律走行するロボットです。

今回は「火星のような岩場や起伏のある地形でも走破できる機体」をコンセプトに、高い踏破力と移動速度を追求しました。具体的には、12V駆動の高トルクモータに加え、衝撃吸収とグリップ確保を両立する独自の「ゴムスポークタイヤ」を採用し、悪路での信頼性を飛躍的に高めています。また、運用面での大きな特徴として、着地後のパラシュートが機体に覆いかかり走行不能になるリスクを防ぐため、地上高2～3mの時点でパラシュートを切り離して着地させる機構を組み込みました。前述のゴムスポークタイヤは、この空中分離による着地衝撃に耐えうるサスペンションとしても機能します。誘導にはGPSとカメラを併用した「二段階誘導」を採用し、確実なゴール到達を目指しました。

大会の様子と結果

現地での行程は5日間に及びました。初日は到着後に機体検査を受け、安全面や寸法・重量条件の確認を行いました。2日目には技術発表会が開催され、各チームが開発した機体のプレゼンテーションを通じて技術的な知見を共有しました。その後、3日目・4日目の競技本番に向け、組立やパラシュート収納といった最終調整を入念に進め、フライトに臨みました。最終日には講演会やワークショップを経て、全日程を終了しました。





大会1週間ほど前から当日の降雨が懸念され、予定表上は雨天時中止の可能性も想定していました。しかし万が一に備え、急遽、機体の雨よけの追加と、センサ部のシーリング（防滴処理）を行いました。結果として当日は雨天決行となり、これらの処置により、雨の影響をある程度抑えつつフライトに臨むことができました。

1mm以上の雨と強風という悪天候の中での大会でしたが、パラシュート展開・分離、着地まで正常に動作させることができました。残念ながら着地の衝撃でログを保存するSDカードが抜け落ち、エラーが発生して停止したためリタイアという結果になりました。

本機体では、ログ提出用のSDカードが抜けた場合に備えて本体内蔵のSDカードにもログを書き込む冗長性を組み込んでいたものの、タイミング悪くデータ書き込み処理の最中にカードが抜けたことでエラーが発生し、システムが停止してしまいました。開発の遅れにより十分な落下テストを実施できなかったこと、プログラム修正期間が短くなったことが、この問題の発見に至らなかった主な原因と考えられます。

フライト終了後の交流会では、他大学チームと結果を報告し合いながら、設計思想や運用の工夫について意見を交わし、多くの刺激を受けることができました。

今回の遠征にあたり、後援会補助を旅費の一部として活用させていただきました。結果として課題は残りましたが、現場特有の気象条件と機械的衝撃が複合する環境での運用経験や、記録媒体の固定など「壊れない運用」に向けた具体的な教訓が得られた点は大きな収穫です。今回の経験で得た知見を、今後のロボット開発や研究活動において幅広く活かしていきたいと考えています。



● 令和7年度創造工学部生への就職支援 ●

◆ガイダンス・セミナーの実施状況

開催日	ガイダンス名称	実施内容
4/21 (月)	インターンシップ説明会	インターンシップの流れや単位認定に関する説明 就職情報サイト登録サイト紹介
4/21 (月) 4/23 (水)	第1回前期就活スタートガイダンス	就活の流れ等の説明, キャリア支援センター利用方法等の説明 就職情報サイト登録サイト紹介
4/23 (水)	大学入門ゼミ (キャリア教育)	大学院進学, キャリアデザインに関する説明
5/12 (月)	自己分析&インターンシップ対策講座	4月のプレガイダンスに参加 (またはアーカイブ視聴) したことを前提に実施 インターンシップ情報や業界研究等
5/19 (月)	職務適性テスト解説会&自己分析	インターンシップ先選択のための業界・企業研究方法のノウハウ講座
6/11 (水)	学内業界研究セミナー&夏季インターンシップ等説明会	理工系学生対象企業研究イベント
6/18 (水)	SPI理解+WEBテスト受検会	SPI適性検査の開設, 模擬受検会
6/23 (月) 6/25 (水)	インターンシップのための参加準備・マナー講座	インターンシップ, 就職活動に必要なビジネスマナーを学ぼう! ◇第一印象◇会社訪問◇社会人とのコミュニケーション
6/23 (月)	就職ガイダンス	就職活動の流れに関する説明
6/30 (月) 7/ 2 (水)	公務員志望者向け集団討論練習会	公務員試験の2次試験で行われることの多い集団討論 公務員志望者同士で練習してフィードバックを受けて本番に備えましょう
7/23 (水)	夏休みの過ごし方講座	外部講師による講座
8/21 (木) 8/22 (金)	オンライン県内企業見学ツアー	オンラインで自宅に居ながら香川県内企業を訪問しよう!
9/10 (水) 9/24 (水)	就職活動リスタート相談会	県内自治体・商工会議所等の経済団体職員 (本学OB・OG含む) との交流会
9/22 (月)	学内合同企業セミナー	ブース形式の企業研究セミナー (主に, 建築・防災・情報系学生を対象にした企業)
9/26 (金)	エントリーシート対策講座	県内自治体・商工会議所等の経済団体職員 (本学OB・OG含む) との交流会
9/30 (火)	うどん県の自治体で働こう大懇談会	香川県をはじめ県内各自治体の担当者やOB/OGと話せるチャンス!
10/14(火)	2年生対象インターンシップ準備説明会&インターンシップ実施報告会	インターンシップ実施報告及び来年度インターンシップに行く予定の学生の準備説明
10/15(水)	合同企業説明会 (合説) の回り方 & カガタスUCの使い方講座	合説に参加するけど, 企業の人にどういことを聞いたらいい? 効率のいい参加の仕方は? そもそも合説ってなに? そんな疑問にお答えします! 香川大学生の就活の味方, 【カガタスUC】のおすすめの使い方も伝授
10/27(月)	センパイCafé	地元で働く卒業生がみんなの疑問に答えます 就活のこと, 働き方についてなんでも質問OK 先輩方の本音を聞き出そう!

11/5 (水)	公安系公務員業界研究セミナー	公安系公務員に興味のある方向けの業務内容等説明
11/5 (水)	香川県職員職種研究セミナー	香川県職員に興味のある方向けの業務内容等説明
11/10(月)	半導体が拓く未来 JEITAキャリア講演会	半導体業界や仕事内容についての説明
11/10(月)	冬季インターンシップ・仕事体験募集説明会&学内業界研究セミナー	理工系学生対象企業研究イベント (参加企業) 三菱自動車工業, 四国電力・四国電力送配電, 日鉄テックスエンジ, 丸五ゴム工業 など計19社
11/12(水)	民間企業志望者向け学内業界研究セミナー	民間企業志望者向けの業務内容等説明
11/17(月) 11/19(水)	面接・グループディスカッション (GD) 対策講座	面接・GD対策の基礎, 面接官の深掘りの質問対策, 担当者に響く逆質問, GDで埋もれない! 発言のコツと立ち回り
11/17(月)	おかやま業界研究会 in 香川大学 創造工学部	岡山県内企業研究イベント (参加企業) 荒木組, 内山工業, OEC, ナカシマプロペラ, 萩原工業, モリマシナリー
11/21(金)	AI面接機能やってみた	外部講師による面接講座
12/2 (火)	NHK大学セミナー NHK「あしたが変わるトリセツショー」 presents 科学を“伝える”という仕事 ~ NHK 制作ディレクターの現場から~	NHK主催セミナー
12/3 (水) 12/8 (月)	生成AIがアシスト 強み・経験の言語化講座	リクルート講師による講座
12/8 (月)	学内合同企業セミナー	ブース形式の企業研究セミナー (主に, 機械・材料系学生を対象にした企業)
12/10(水)	学内個別業界研究セミナー「財務省本省一般職」	財務省向けの業務内容等説明
12/10(水)	模擬グループディスカッション講座	模擬グループディスカッション
12/26(金)	キャンパスフォーラム (合同業界研究セミナー)	香川大学生対象企業研究イベント
1/21 (水)	公務員志望者向け対策講座	対策とスケジュール説明
1/26 (月)	冬季インターンシップ・仕事体験募集説明会&学内業界研究セミナー	理工系学生対象企業研究イベント (参加企業) グンゼ, ソフトクリエイティブホールディングス, 熊谷組, 三菱重工マリタイムシステムズ, MHIパワーエンジニアリングなど計20社
2/17 (火) 2/18 (水)	公務員・国立大学法人等職員説明会	公務員, 国立大学法人等職員を希望する学生に対して, 機関担当者から仕事内容, 試験内容などについて説明
2/20 (金)	就活直前対策講座	各省庁, 官庁の業務及び採用試験説明
2/26 (木)	第0回就職ガイダンス	就活準備の第一歩 必要な準備
毎月2回実施	個別就職相談	キャリアコンサルタント資格をもつ就職相談員が, 業界研究, エントリーシートの添削, 模擬面接等の相談を受け付ける

その他, 個別に企業説明会等を10社以上開催しています。

● 令和7年度主な就職先一覧 ●

〈学部〉

※五十音順 ※「株式会社」等は省略

- **建設業** エイト日本技術開発, ID&Eホールディングス, 大林組, 大本組, 奥村組, 岳南建設, 鹿島建設, 川崎設備工業, 鴻池組, 五洋建設, 清水建設, 積水ハウス, 大気社, 大成建設, 中電工, 東亜建設工業, 戸田建設, 長崎船舶装備, 西松建設, 藤木工務店, 乃村工藝社, ミサワホーム, 三井住友建設, 四電工, ワイズデザイン建築設計室 他
- **製造業** アイリスオーヤマ, アオイ電子, 朝日スチール工業, 石垣, 内山工業, NOK, NTN, 大倉工業, オムロン, 川崎重工, 京セラ, クラレ, グローブライド, コベルコE&M, サムソン, シーピー化成, ジェイテクト, 四国計測工業, 四変テック, シャープ, SCREENホールディングス, 住友重機械工業, セイコーエプソン, ソニーセミコンダクタソリューションズ, ダイハツ工業, タカトリ, タダノ, タツモ, タニコー, デンソーテン, トヨタ, 豊田合成, トヨタテック, ニデック, 日本電設工業, パナソニック, パナソニックエナジー, 日立産業制御ソリューションズ, ヒューテック, フソウ, 古河電気工業, マキタ, マツダ, 三浦工業, 三菱ケミカル, 三菱電機, 三菱電機ディフェンス&スペーステクノロジース, ヤマハ発動機, リョービ, レクザム, 湯山製作所 他
- **電気・ガス** 四国電力, 四国電力送配電, 高松帝酸, 中国電力, 東京電力ホールディングス 他
- **情報通信業** イルグルム, STNet, NTTドコモ, NTTビジネスソリューションズ, NTTデータウェア, NTTデータ四国, KSB瀬戸内海放送, コベルコシステム, NTTコミュニケーションズ, MJC, OKIソフトウェア, 四国日立システムズ, ソフトウェア・サービス, TBSアクト, TBSテレビ, 東京電機産業, ドコモCS四国, 西日本電信電話, 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス, 日本電気通信システム, 任天堂, ネットワンシステムズ, パナソニック防災システムズ, バンダイナムコスタジオ, 日立ソリューションズ, 百十四システムサービス, 富士通Japan, 富士通四国インフォテック, 三菱電機ディフェンス&スペーステクノロジース, メンバーズ, LIONA, 両備システムズ 他
- **運輸業** 四国旅客鉄道, 南海電気鉄道, 西日本高速道路, 西日本旅客鉄道, 日本航空, 本州四国連絡高速道路 他
- **卸売業, 小売業** いーふらん, 石井事務機, 四国石油, 東京貿易ホールディングス, 菱洋エレクトロ 他
- **不動産業** あなぶき興産 他
- **金融業** 百十四銀行 他
- **学術研究, 専門・技術サービス業** アーク・ジオ・サポート, ウエスコ, 応用地質, 原子力安全推進協会, 建設技術研究所, セトラスホールディングス, 大日本ダイヤコンサルタント, 長大, NEXCO西日本コンサルタント, Hakuhodo DY ONE, 復建調査設計, 水資源機構, 四電技術コンサルタント 他
- **その他サービス業** エイチ・アイ・エス, NTTファシリティーズ, エヌビーエム, 愛媛総合警備保障, 晴れの国岡山農業協同組合 他
- **国家公務員** 九州地方整備局, 近畿地方整備局, 四国運輸局, 四国地方整備局, 農林水産省 中国四国農政局, 中国地方整備局 他
- **地方公務員** 大阪府庁, 岡山県警察, 岡山県庁, 香川県警察, 香川県庁, 香川県計量検定所, 呉市役所, 坂出市役所, 佐賀県庁, 高松市役所, 徳島県庁, 徳島市消防局, 兵庫県庁, 広島市役所, 丸亀市役所, 和歌山県庁 他

〈大学院〉

※五十音順 ※「株式会社」等は省略

- 建設業** エイト日本技術開発, 鹿島建設, ナイバ, 昭和設計, 東亜建設工業, 日本工営都市空間, 日本ミクニヤ, 日立建設設計, ミサワホーム近畿, 村上ホールディングス, 四電工 他
- 製造業** IHI, アイシン, イヌイ, SMC, 大倉工業, オージー技研, 京セラ, クボタ, クラレ, グローリー, 神戸製鋼所, コクヨ, サムソン, 山陽特殊製鋼, 島津製作所, JFEスチール, ジェイテクト, 四国計測工業, シチズン時計, シャープ, 新来島サノヤス造船, スズキ, 大王製紙, 大日本印刷, ダイフク, タダノ, テルモ, TDK, 東京エレクトロン, トヨタ自動車, ニコン, 日亜化学工業, 日産自動車, 日鉄ステンレス, 日東電工, ニチコン, ニプロ, 日本電気硝子, パナソニック, パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション, 日立製作所, 日立ハイテク, 富士通, 富士フイルムビジネスイノベーション, プロテリアル特殊鋼, マキタ, マツダ, 三井化学, 三菱ケミカル, 三菱電機, 三菱マテリアル, 村田製作所, 明電舎, リコー, YKK AP 他
- 電気・ガス** 四国電力, 四国電力送配電, 中国電力, 電源開発, 東京電力パワーグリッド, 北海道電力 他
- 情報通信業** アクセンチュア, STNet, NTTドコモ, NTT西日本, NSソリューションズ関西, オービス総研, KDDI, KDDIアジャイル開発センター, コベルコシステム, ジャステック, さくらインターネット, ソフトバンク, 電通, 電通総研, 西日本電信電話, 日本経済新聞社, ネットワンシステムズ, 富士通Japan, マイクロメイト岡山, 三菱電機デジタルイノベーション, LINEヤフー, 楽天グループ 他
- 運輸業** 四国旅客鉄道, 全日本空輸, 東海旅客鉄道, 西日本高速道路 他
- 不動産業** 阪急阪神不動産 他
- 金融業** 中国銀行 他
- 学術研究, 専門・技術サービス業** INA新建築研究所, オリエンタルコンサルタンツ, シアテック, 中央コンサルタンツ, 都市再生機構, 日本建築総合試験所, 四電技術コンサルタント 他
- その他サービス業** ティーケーピー 他
- 国家公務員** 四国運輸局, 四国地方整備局, 鳥取地方法務局 他
- 地方公務員** 岡山県庁, 岡山市役所, 香川県庁, 倉敷市役所, 高松市役所 他

香川大学創造工学部後援会役員会・総会報告

役員会報告

日時：令和8年3月7日（土）10時～

場所：創造工学部管理棟1階会議室

- 議事：1. 香川大学創造工学部後援会学生表彰規程の改正について
 2. 後援会学生表彰について
 3. 令和7年度事業報告（案）及び収支決算（案）について
 4. 会報誌トリニティの冊子体発行の取りやめについて
 5. 令和8年度事業計画（案）及び予算（案）について
 6. 新役員候補選出を現会長、学部長へ一任することについて
 7. その他

（議事要旨）

香川大学創造工学部後援会学生表彰規程の改正案が審議の結果了承された。改正された後援会学生表彰規程により令和7年度の被表彰者として、学部長から推薦された7名が了承された。令和7年度事業報告（案）及び収支決算（案）が了承された。会報誌トリニティの冊子体発行を取りやめ、Web発行することが了承された。令和8年度事業計画（案）及び予算（案）について、審議の結果、記念事業積立金を解約する案に修正し、総会に諮ること了承された。議事3, 5, 6については後援会総会に諮り、議事1, 2については後援会総会に報告することとなった。

総会報告

昨年度に引き続き、会議資料を郵送し、議事の可否について回答をいただくこととした。

- 議事：1. 令和7年度事業報告及び収支決算について（総会資料1-1～1-3）
 2. 新役員の選出について（総会資料2）
 3. 令和8年度事業計画（案）及び予算（案）について（総会資料3-1～3-3）
 報告：香川大学創造工学部後援会学生表彰規程の改正について（総会資料4）
 学生表彰について（総会資料5）
 卒業・修了記念事業及び南海トラフ地震対策備蓄品購入事業について（総会資料6）

（議事要旨）

議事1. 令和7年度事業報告及び収支決算、議事2. 新役員の選出、議事3. 令和8年度事業計画（案）及び予算（案）の各事案について、原案のとおり了承された。

続いて、香川大学創造工学部後援会学生表彰規程の改正、学生表彰、卒業・修了記念事業及び南海トラフ地震対策備蓄品購入事業について報告された。

／ 総会資料 1－1： 令和7年度 香川大学創造工学部後援会事業報告

学生指導支援事業

研修・学会等での研究発表に伴う参加費・交通費援助，学会年会費等援助，新入生研修経費補助，校外学習旅費補助，実験実習補助学生に対する謝金，ピア・サポーター業務に対する謝金等を行った。さらに，英語授業の成績評価に使用されるTOEICの受験料援助を行った。

就職活動支援事業

教育実習への援助を行った。

国際交流支援事業

オーストラリア・キャンベラ大学との協定校訪問事業参加学生と国際インターンシップ派遣学生に対し援助を行った。また，English Café・英会話指導等の援助，留学等を予定している学生への英語指導等に対し援助を行った。

卒業・修了記念事業

学位記ホルダー作成配付，学生表彰後援会会長賞の授与を行った。

学生行事支援事業

香川大学祭，讃工祭への援助，オープンキャンパス，クリーンキャンパスへの援助を行った。

課外活動支援事業

香川大学学生ロボット研究所の種子島ロケットコンテスト参加にかかる援助を行った。

会報誌等印刷事業

後援会会報誌（トリニティ Vol. 26）を発行した。また，総会資料，封筒，チラシを印刷した。

南海トラフ地震対策備蓄用品購入事業

各種防災用備蓄品を購入した。（保存水，保存食，浄水フィルター等）

／ 総会資料 1－2： 令和7年度 香川大学創造工学部後援会決算書

収入の部

(単位：円)

費 目	予 算 額 A	決 算 額 B	差 額 B-A	決 算 額 内 訳
前 年 度 繰 越 金	6,139,768	6,139,768	0	
会 費（正会員）	8,500,000	9,600,000	1,100,000	学部入学生 50,000円×166人 学部在学学生 50,000円×22人 学部編入生 25,000円×5人 大学院入学生 25,000円×3人
寄 附 金	0	50,945	50,945	
立 替 金 返 金	0	62,000	62,000	
利 子	0	6,768	6,768	
計	14,639,768	15,859,481	1,219,713	

支出の部

(単位：円)

費 目	予 算 額 A	決 算 額 B	差 額 A-B	決 算 額 内 訳
学 生 指 導 援 助 費	6,000,000	5,432,621	567,379	クラス運営費，研修・学会発表，学会年会費，TOEIC受験料，ピア・サポーター経費 援助
就 職 活 動 援 助 費	250,000	11,280	238,720	教育実習援助
国 際 交 流 援 助 費	1,500,000	1,001,649	498,351	English Café・英会話指導等援助，協定校訪問
卒 業・修 了 記 念 事 業 費	2,000,000	626,017	1,373,983	学位記ホルダー，学生表彰楯
学 生 行 事 援 助 費	500,000	508,032	△ 8,032	オープンキャンパス，大学祭，讃工祭 援助
課 外 活 動 援 助 費	250,000	150,000	100,000	サークル活動への援助
印 刷 費	700,000	506,226	193,774	会報，総会資料等の印刷
会 議 費	0	36,390	△ 36,390	役員会の開催
事 務 費	500,000	409,352	90,648	通信費，消耗品等
雑 費	200,000	0	200,000	
南海トラフ地震対策 備蓄用品購入事業費	200,000	338,925	△ 138,925	防災用品，備蓄品食料・飲料の購入
予 備 費	2,539,768	0	2,539,768	
次 年 度 繰 越 金	0	6,838,989	△ 6,838,989	
計	14,639,768	15,859,481	△ 1,219,713	

令和7年度香川大学創造工学部後援会の会計は適正であることを認める。

監査日：令和8年3月27日

監 事：山田 里奈

／ 総会資料 1－3： 令和 7 年度 香川大学創造工学部後援会記念事業積立金決算書

(単位：円)

費 目	受 入 額	支 出 額	積立金現在額（令和8年3月末日現在）
前年度までの積立金	6,080,390	0	
預 金 利 息	7,321	0	
計	6,087,711	0	6,087,711

令和 7 年度香川大学創造工学部後援会の会計は適正であることを認める。

監査日：令和8年3月27日

監 事：山田 里奈

／ 総会資料2： 令和8年度 香川大学創造工学部後援会役員

正会員（保護者）役員

（学年次・コース順）

役 員	氏 名	年次	学生所属コース
会 長	小 野 滋 己	3 年次	情報システム・セキュリティコース
副 会 長	吉 田 真 人	4 年次	防災・危機管理コース
〃	野 崎 隆 享	2 年次	材料物質科学コース
〃	中 村 敦 志	1 年次	建築・都市環境コース
理 事	大 野 裕 美	4 年次	造形・メディアデザインコース
〃	清 水 暁 子	〃	建築・都市環境コース
〃	土 居 英理子	〃	情報システム・セキュリティコース
〃	一 瀬 智 美	〃	人工知能・通信ネットワークコース
〃	岩 部 明 子	〃	機械システムコース
〃	高須賀 いづみ	〃	材料物質科学コース
〃	村 木 明 子	3 年次	建築・都市環境コース
〃	三 宅 弘 一	〃	防災・危機管理コース
〃	村 田 往 立	〃	人工知能・通信ネットワークコース
〃	秋 山 卓 巳	〃	機械システムコース
〃	高 橋 智 香	〃	材料物質科学コース
〃	高 崎 綾 子	2 年次	建築・都市環境コース
〃	村 上 佳 子	〃	防災・危機管理コース
〃	中 本 いづみ	〃	情報コース
〃	檜 原 健 助	〃	人工知能・通信ネットワークコース
〃	武 本 登志子	〃	機械システムコース
〃	高 木 美 和	1 年次	造形・メディアデザインコース
〃	岩 田 純 子	〃	防災・危機管理コース
〃	石 井 江里子	〃	情報コース
〃	星 野 理 恵	〃	人工知能・通信ネットワークコース
〃	箕 作 道 将	〃	機械システムコース
〃	秋 山 佳 那	〃	材料物質科学コース
監 事	内 田 裕 二	4 年次	造形・メディアデザインコース
〃	山 田 里 奈	2 年次	情報コース

特別会員（創造工学部教職員）役員

役 員	氏 名	コ ー ス
理 事	創造工学部長 教授 吉田 秀典	建築・都市環境コース
〃	副 学 部 長 教授 安藤 一秋	情報コース
〃	副 学 部 長 教授 梶谷 義雄	防災・危機管理コース
〃	副 学 部 長 コース責任者 教授 北島 博之	人工知能・通信ネットワークコース
〃	副 学 部 長 教授 高橋 悟	機械システムコース
〃	コース責任者 教授 山中 隆史	造形・メディアデザインコース
〃	コース責任者 教授 井面 仁志	防災・危機管理コース
〃	コース責任者 教授 石塚 正秀	建築・都市環境コース
〃	コース責任者 教授 喜田 弘司	情報コース
〃	コース責任者 教授 鈴木 桂輔	機械システムコース
〃	コース責任者 教授 石井 知彦	材料物質科学コース

／ 総会資料3－1： 令和8年度 香川大学創造工学部後援会事業計画（案）

学生指導支援事業

新入生懇談会，クラス・ゼミナール運営，学生研修，学会発表交通費，学会年会費，ピア・サポーター謝金，資格取得奨励，TOEICテスト受験料等の援助

就職活動支援事業

教育実習援助，就職活動にかかる交通費援助

国際交流支援事業

国際学術交流推進，国際コミュニケーション能力育成，留学生との交流，English Café・英会話指導等の援助

卒業・修了記念事業

学位記ホルダー配付，学生表彰

学生行事支援事業

大学祭，讃工祭等の学生行事，オープンキャンパスへの援助

課外活動支援事業

サークル活動及び大会参加等の援助

会報誌等印刷事業

会報誌（トリニティ Vol.27）Web版発行，総会資料等印刷

教育環境整備事業（創造工学部支援事業）

トイレ洋式化の工事，老朽化している教育設備（プロジェクター等）の更新，協定校訪問の際の引率にかかる旅費の支援

創造工学部後援会助成金として創造工学部に寄附をおこない，創造工学部の教育環境整備を支援する

南海トラフ地震対策備蓄用品購入事業

防災・備蓄用品の購入

総会資料 3-2： 令和8年度 香川大学創造工学部後援会予算書（案）

収入の部

（単位：円）

費 目	前年度予算額 A	予 算 額 B	差 額 B-A	備 考
前 年 度 繰 越 金	6,139,768	6,838,989	699,221	
会 費	8,500,000	9,000,000	500,000	新 入 生 50,000円×330名×0.50 在 学 生 50,000円× 10名 編入学生 25,000円× 20名×0.50
記 念 事 業 積 立 金		6,087,711	6,087,711	
計	14,639,768	21,926,700	7,286,932	

支出の部

（単位：円）

費 目	前年度予算額 A	予 算 額 B	差 額 B-A	備 考
学 生 指 導 援 助 費	6,000,000	6,000,000	0	新入生懇談会，クラス運営，研修，学会発表，学会年会費，ピアサポーター謝金，資格取得奨励，TOEICテスト受験料等の援助
就 職 活 動 援 助 費	250,000	250,000	0	教育実習援助，就職活動援助
国 際 交 流 援 助 費	1,500,000	1,500,000	0	国際インターンシップ，国際学術交流推進，English Café・英会話指導等援助
卒 業・修 了 記 念 事 業 費	2,000,000	1,500,000	△ 500,000	卒業・修了記念援助（学位記ホルダー配付，学生表彰）
学 生 行 事 援 助 費	500,000	600,000	100,000	オープンキャンパス，大学祭，讃工祭等の援助
課 外 活 動 援 助 費	250,000	250,000	0	課外活動用備品，サークル活動，大会参加等の援助
印 刷 費	700,000	300,000	△ 400,000	総会資料，封筒，チラシ等の印刷
会 議 費	0	100,000	100,000	役員会
事 務 費	500,000	500,000	0	通信費，消耗品等
雑 費	200,000	200,000	0	慶弔，その他経費
教育環境整備費（創造工学部支援費）		5,000,000	5,000,000	教育環境整備を目的とした創造工学部への寄附金
南海トラフ地震対策備蓄用品購入事業費	200,000	500,000	300,000	防災・備蓄用品の購入
予 備 費	2,539,768	5,226,700	2,686,932	
計	14,639,768	21,926,700	7,286,932	

総会資料 3-3： 令和8年度 香川大学創造工学部後援会記念事業積立金予算書（案）

（単位：円）

費 目	受 入 額	支 出 額	積立金見込額（令和9年3月末日現在）
前年度までの積立金	6,087,711	0	
解 約 *		6,087,711	
計	6,087,711	6,087,711	0

*総会で了承され次第に解約する

／ 総会資料 4： 香川大学創造工学部後援会学生表彰規程の改正について

香川大学創造工学部後援会学生表彰規程（改正）

（趣 旨）

第1条 この規程は、香川大学創造工学部（以下「本学部」という。）における学生の表彰に関し、必要な事項を定める。

（表 彰）

第2条 表彰は、優秀な学業成績を修めた学生に表彰状と記念品の授与をもって行う。

（被表彰候補者）

第3条 表彰は、後援会会長賞として、本学部を卒業するし、後援会に加入している学生を対象に行う。ただし、全学的に表彰された者は除く。

2 後援会会長賞は、各コースにおいて成績換算値（ $5s+4a+2b+c$ ； s 、 a 、 b 、 c はそれぞれ秀、優、良、可の取得単位数）が1位の者をコース毎に被表彰候補者とする。なお、対象とする科目は単位取得したすべての科目とする。

3 前項の被表彰候補者が香川大学創造工学部学生表彰実施要項第3条に規定する被表彰候補者と同一人である場合は、次順位者を被表彰候補者とする。

（被表彰候補者の選考）

第4条 被表彰候補者は、創造工学部教務委員会で審議し、運営委員会議の議を経て学部長が後援会会長に推薦する。

2 後援会会長は、学部長より推薦のあった者について役員会の議を経て被表彰者を決定する。

（表彰状）

第5条 表彰状は別紙様式によるものとする。

（公 表）

第6条 被表彰者の所属、氏名、表彰の種類を本学部内に公表する。

（雑 則）

第7条 この規程に定めるもののほか、表彰に関し必要な事項は後援会が定める。

附 則

この規程は、平成14年 3月22日から施行する。

附 則

この規程は、平成15年 3月24日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年 3月23日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年 4月3日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年 4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和8年 3月7日から施行する。

(別紙様式)

表 彰 状
創造工学部後援会会長賞

所属コース名

氏 名 君

香川大学創造工学部後援会学生表彰規程に基づき
貴君は学業成績が優秀であることを認めた
よって本賞を贈りこれを表彰する

令和 年 月 日

香川大学創造工学部後援会

会 長 氏 名

印

／ 総会資料5： 学生表彰

令和8年3月9日

香川大学創造工学部後援会
会長 小 野 滋 己 殿

香川大学創造工学部長
吉 田 秀 典

令和7年度後援会会長賞候補者の推薦について

このことについて、香川大学創造工学部後援会学生表彰規程第4条第1項に基づき、下記の学生を表彰いたしますので、宜しくお取り計らい願います。

記

コース	学籍番号	氏名
造形メディア・デザインコース	21T038	武 藤 叶 笑
建築・都市環境コース	22T136	継 山 平
防災・危機管理コース	22T215	内 藤 千 晴
情報システム・セキュリティコース	22T329	濱 渦 ゆりの
情報通信コース	22T439	門 田 滉 平
機械システムコース	22T520	清 水 夏 生
先端マテリアル科学コース	22T651	三 好 翔 太

／ 総会資料 6： 令和 7 年度 卒業記念事業／南海トラフ地震対策備蓄用品購入事業

卒業・修了記念事業

1. 学位記ホルダー
2. 後援会長賞の賞状と記念品の授与

南海トラフ地震対策備蓄用品購入事業

1. 保存水 15年保存水
2. 保存食 えいようかん
3. 非常用浄水器のろ過フィルター 他

飛翔会規約

(名 称)

第1条 本会は香川大学創造工学部後援会と称する。

2 本会の通称名は飛翔会（以下本会という。）とする。

(目 的)

第2条 本会は、家庭と創造工学部との連絡を密にするとともに、学生の教育研究、課外活動教育、就職活動、国際交流及び勉学奨励の支援を目的とする。

(組 織)

第3条 本会は、次の会員をもって組織する。

一 正会員 創造工学部学生及び大学院創発科学研究科創発科学専攻（工学系領域）学生（以下「大学院生」という。）の保護者等

二 特別会員 創造工学部の教職員

(事務所)

第4条 本会の事務所は、香川大学創造工学部内（高松市林町2217-20）に置く。

(役 員)

第5条 本会には次の役員を置く。

一 会 長 1人

二 副会長 正会員 各学年1人（会長に選出された学年を除く。）

三 理 事 正会員 各学年若干人
特別会員 若干人

四 監 事 2人

五 顧 問 若干人

(役員の仕事)

第6条 会長は、会務を総理し、本会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐する。

3 理事は、会務を処理する。

4 監事は、会計を監査する。

5 顧問は、本会の運営に関し助言する。

(役員に事故ある場合)

第7条 会長が欠けた場合は、新たに会長が選出されるまでの間、副会長が職務を代理する。

2 副会長が欠けた場合は、当該学年選出の理事のうち1人が副会長を兼務する。

3 理事又は幹事が欠けた場合は、原則として補充を行わない。

(役員を選出)

第8条 役員は、役員会の議を経て、総会において選任する。

2 会長は、副会長のうちから選任する。

3 幹事は、正会員のうちから選任する。

4 特別会員理事中1人は、学部長をもって充てる。

5 顧問は、会長経験者をもって充てる。

(任 期)

第9条 会長、副会長、正会員理事及び監事の任期は、その学生の在学期間とする。

2 特別会員理事の任期は、1年とし、再任を妨げない。

(会 議)

第10条 本会に総会及び役員会を置く。

(総 会)

第11条 総会は、毎年1回4月にこれを開く。

ただし、必要があるときは、随時これを開くことができる。

- 2 総会は、会長が招集し、その議長となる。
- 3 総会は、会務の報告を受け、重要会務を審議する。
- 4 総会の議事は出席会員の過半数で決める。

(役員会)

第12条 役員会は、随時これを開く。

- 2 役員会は、総会閉会中総会に代わり、重要会務を審議する。

(会 計)

第13条 本会の経費は、会費及び寄附をもってこれに充てる。

(会 費)

第14条 正会員は、会費 5 万円を入学時に一括して納入するものとする。

ただし、編入学生及び大学院生（創造工学部からの進学者を除く。）にかかる会費は、2 万 5 千円とし、入学時に一括して納入するものとする。

(予算・決算)

第15条 予算及び決算は、役員会及び総会の承認を経なければならない。

(会計年度)

第16条 会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わる。

(規約改正)

第17条 本規約の改正は、総会の議決を経なければならない。

附 則

この規約は、平成10年 4 月 8 日から施行する。

附 則

- 1 この規約は、平成12年 4 月 10 日から施行するものとし、第13条第 1 項の規定は、13年度入学者から適用する。
- 2 第 1 学期の正会員役員については、第 5 条第 2 号及び第 3 号の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則

この規約は、平成13年 4 月 9 日から施行する。

附 則

この規約は、平成14年 4 月 6 日から施行する。

附 則

この規約は、平成16年 4 月 6 日から施行する。

附 則

この規約は、平成26年 4 月 4 日から施行する。

附 則

この規約は、平成30年 4 月 3 日から施行する。ただし、工学部に在籍する学生の保護者等は第 3 条第 1 号の正会員とみなす。

附 則

この規約は、令和 3 年 4 月 3 日から施行する。

附 則

この規約は、令和 4 年 4 月 3 日から施行する。ただし、大学院工学研究科に在籍する学生の保護者等は第 3 条第 1 号の正会員とみなす。

● 創造工学部の紹介 ●

創造工学部長：吉田 秀典
副学部長：安藤 一秋
副学部長：梶谷 義雄
副学部長：北島 博之
副学部長：高橋 悟

【造形・メディアデザインコース】

コース責任者：山中 隆史

造形・メディアデザインコースの詳細はこちらから

https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/course/modeling/

造形・メディアデザインコースの教員一覧はこちらから

https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/introduction/staff/20694/

【建築・都市環境コース】

コース責任者：石塚 正秀

建築・都市環境コースの詳細はこちらから

https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/course/architecture/

建築・都市環境コースの教員一覧はこちらから

https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/introduction/staff/20695/

【防災・危機管理コース】

コース責任者：井面 仁志

防災・危機管理コースの詳細はこちらから

https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/course/disaster_prevention/

防災・危機管理コースの教員一覧はこちらから

https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/introduction/staff/20696/

【情報コース】 ※令和7年4月以前は情報システム・セキュリティコース

コース責任者：喜田 弘司

情報コースの詳細はこちらから

https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/course/security/

情報コースの教員一覧はこちらから

https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/introduction/staff/20697/

【人工知能・通信ネットワークコース】 ※令和5年4月以前は情報通信コース

コース責任者：北島 博之

人工知能・通信ネットワークコースの詳細はこちらから

https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/course/telecommunications/

人工知能・通信ネットワークコースの教員一覧はこちらから

https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/introduction/staff/20698/**【機械システムコース】**

コース責任者：鈴木 桂輔

機械システムコースの詳細はこちらから

https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/course/mechanical/

機械システムコースの教員一覧はこちらから

https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/introduction/staff/20699/**【材料物質科学コース】** ※令和5年4月以前は先端マテリアル科学コース

コース責任者：石井 知彦

材料物質科学コースの詳細はこちらから

https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/course/material/

材料物質科学コースの教員一覧はこちらから

https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/introduction/staff/20700/

編 集 後 記

平素より後援会活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

後援会会報トリニティ第27号をお届けします。今回より、トリニティはホームページ内で掲載し、いつでもご覧いただけるようになりました。トリニティでは創造工学部のさまざまな情報や後援会活動を掲載しております。今後更に内容を充実したいと思っておりますので、後援会や本会報へのご意見、ご希望などございましたら、遠慮なくお寄せください。

令和8年3月に、コロナ禍以来となる役員会の対面開催を行い、役員の皆さまの貴重なご意見をお聞かせいただくことができました。また、その際には教職員との懇談も想定時間を超えて行われ、大変充実した時間となりました。今後とも後援会が創造工学部と保護者の皆さまとの懸け橋になれば幸いです。

なお、今号の作成にご協力いただいた皆さまに心から感謝いたします。

TRINITY - 香川大学創造工学部後援会会報 - '26-Vol.27

発 行 日 令和8年7月1日
発 行 者 香川大学創造工学部後援会
〒761-0396 高松市林町2217-20
香 川 大 学 創 造 工 学 部 内
TEL 087-864-2000 FAX 087-864-2031

